

第 19 回新潟リハビリテーション研究会

兼 日本リハビリテーション医学会関東地方会生涯教育研修会

日 時：2016 年 12 月 3 日（土）14 時 00 分より

会 場：新潟大学医学部 第一講義室・第四講義室

新潟市中央区旭町通 1-757

プ ロ グ ラ ム

1. 新潟リハビリテーション研究会役員会（14:00～15:00）

会場 新潟大学医学部第四講義室

2. 新潟リハビリテーション研究会会員総会（15:10～15:25）

会場 新潟大学医学部第一講義室

* 日本リハビリテーション医学会会員、新潟リハビリテーション研究会会員の皆様は全員ご参加下さい

— 休 憩（15:25～15:40） —

3. 薬事案内 「モーラスパップ XR 120mg」久光製薬株式会社（15:40～16:00）

4. 教育研修講演

1) 「パーキンソン病のリハビリテーション」（16:00～17:00）

《座長》 新潟大学大学院医歯総合研究科 整形外科学分野 教授 遠藤直人

《講師》 滋賀県立成人病センター リハビリテーション科 部長 中馬孝容

パーキンソン病は、中枢神経変性疾患で最も多くみられる疾患である。進行とともに、前傾姿勢やすみ足などの歩行障害を認め、日常生活は損なわれ、転倒のリスクは増える。適切な運動や生活指導は患者の能力を最大限まで引き出すことができる可能性があり、Cue を利用した外発性随意運動を取り入れた訓練が効果的との報告が多くみられている。今回、パーキンソン病のリハビリテーションについてのポイントを述べたいと思う。

2) 「投球障害肩の診断とリハビリテーション治療」（17:00～18:00）

《座長》 新潟大学医歯総合病院 総合リハビリテーションセンター 病院教授 木村慎二

《講師》 昭和大学医学部 整形外科学教室 客員教授 筒井廣明

肩関節障害に対する診断から治療の考え方はいずれの疾患でも同じと考えているので、今回は投球という1つの動作を例に挙げ、障害の発生機序から診断と治療の考え方につき述べる。「結果としての病態」および「患者さんの機能的問題点」から「病態を発生させる因子」となっている「身体各部の機能的問題点」を抽出する。障害発生のストーリーが構築できたならば、そのストーリーを変更するための治療方法を考える。この病態・診断・治療の流れのポイントにつき概説する。

○教育研修講演について

日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修会（20 単位一括 2,000 円）および

日本整形外科学会専門医資格継続単位（1 単位につき 1,000 円）

＜日整会専門医資格継続分野番号＞

・教育研修講演 1)：[8] 神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）、[13] リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）、または運動器リハ単位（Re）いずれか 1 単位が取得できます。

・教育研修講演 2)：[9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患、[13] リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）、またはスポーツ単位（S）いずれか 1 単位が取得できます。

○参加費 医師 1,000 円、コメディカル 500 円

○当日は職員駐車場を開放いたしますのでお車の方は西門からお入り下さい。

○新潟リハビリテーション研究会会員は平成 28 年度の会費納入（5,000 円）も受け付けいたします。

○当日は、ご参加いただいた確認のため、御芳名の記帳をお願いいたします。

《共催》 新潟リハビリテーション研究会
久光製薬株式会社